

アフガニスタン高等教育大臣 一行が来学



8月5日（木）、アフガニスタンのシャリフ・ファエズ高等教育大臣、ナジブラ・ナジフ高等教育省国際関係局長、カブール大学のアクバル・モハメッド・ポーパル学長が本学を訪問されました。

なお、詳細については、6頁をご覧ください。

目 次

学 内 の 動 き 3

学部説明会を開催

公開講座「森のしくみー森林環境教育のすすめ」及び大学等開放推進事業
ー先進的モデル講座・大学Jr. サイエンス事業「子どもインターネット教室」
及び「子どもの“樹木博士”の認定事業」を開催

アフガニスタン高等教育大臣一行が本学を表敬訪問

宮田学長、北嶋副学長がロシア国立ハバロフスク工科大学を表敬訪問

工学部附属繊維博物館特別展「歴史的人工結晶」を開催

講演会等特集

人 事 異 動 9

行 事 7 月、8 月 11

シリーズ

F M多摩丘陵（波丘地）の植物 その15 裏表紙

コセンダングサ

農工大の樹 裏表紙

その51 メダラ

学内の動き

◎ 学部説明会を開催

7 月 24 日（土）、小金井キャンパスにおいて工学部説明会が開催されました。

この説明会は、大学進学を考えている受験生を対象に、進路決定の一助となるよう工学部の教育・研究や入試制度を毎年紹介しているものです。

本年度は、高校生等約 800 名の参加があり、松永工学部長のあいさつ、工学部の紹介、入学試験に関する説明等がキャンパス内の 3 会場において行われた後、参加者が希望する学科毎に分かれて学科の詳細な説明を受けるとともに、研究室や図書館、総合情報メディアセンター等の学内施設見学が行われました。

また、8 月 19 日（木）、20 日（金）の両日には、府中キャンパスにおいて農学部説明会が開催され、両日合わせて約 1,800 名の高校生等の参加がありました。

当日は、笹尾農学部長及び教育部副部長のあいさつの後、農学部の全体説明と各学科について映像を交えた紹介を行い、後半は、参加者の希望学科ごとに設けられた会場で、教育・研究、進路・就職、サークル活動等の詳細説明が行われ、その後 10 名程度の小グループに分かれ、学内施設見学が行われました。

両説明会とも、参加した高校生等からは、「各学科の特色や違いが判った。」「研究室や実験施設を見学できて良かった。」等の感想が寄せられました。



（熱気あふれる工学部の説明会会場）



（説明を熱心に聞く農学部説明会参加者）

◎ 公開講座「森のしくみ－森林環境教育のすすめ」及び大学等開放推進事業－先進的モデル講座・大学 Jr. サイエンス事業「子どもインターネット教室」及び「子どもの“樹木博士”の認定事業」を開催

（「森のしくみ」－森林環境教育のすすめ）

7 月 26 日（月）から 28 日（水）まで、小・中・高校の教員を対象とした公開講座「森のしくみ－森林環境教育のすすめ」を開催しました。

F M 草木を舞台にした「森のしくみ」シリーズは、本年度で 16 回目となり、今回は体験型環境教育を中心に、環境問題や木材についての講義や実習が行われ、最終日には参加者が班ごとに分かれ、きれいな映像や巧みな解説で「森に関するプレゼンテーション」を行いました。今後、参加者がそれぞれの教育現場で、これらの実践的な内容を、直接活用していくものと期待されます。

なお、本年の公開講座は、5 月 15 日（土）からの毎土曜日（全 4 回）に「健康スポーツ講座テニス（基礎編）」を、7 月 10 日（土）、11 日（日）の両日に「リフレッシュ気功・呼吸法 その 1」を小金井キャンパスにて、また、7 月 17 日（土）からの毎土曜日（全 5 回）に「実習で学ぶ農業教室－家庭菜園の土づくりから収穫まで－」を F S センターにて開催しています。



（F M 草木での実習風景）

（「子どもインターネット教室」）

本学では、大学等開放推進事業の一環として、先進的モデル講座及び子どもたちに科学やものづくりに関する興味と関心を抱かせることを目的とする大学 Jr. サイエンス事業を実施しています。

小金井図書館では「子どもインターネット教室」が、7 月 31 日（土）、8 月 1 日（日）の両日に開催され、小学生等 27 名が参加しました。

本教室は本年度で 6 回目を迎え、ボランティアとして参加した大学図書館員・教員・大学生・高校生等からなるスタッフ 52 名と共に、絵を描いたり、物語を考えたり、興味を持った石や貝・草などを図鑑やインターネットで調べ、ホームページを作成する「マイホームページ作り」等を行いました。特に今回は「子どものインターネット利用」についてのマナーや気をつけること、著作権やプライバシー保護などの説明を行う時間も設けました。

子どもたちの制作した「マイホームページ」は、図書館ホームページの

<http://www.biblio.tuat.ac.jp/event/kids2004/program.htm> に掲載しています。

〔「子どもの“樹木博士” 認定事業－大学キャンパスで樹木の名前を憶える遊び〕〕

府中キャンパスでは「子どもの“樹木博士” 認定事業－大学キャンパスで樹木の名前を憶える遊びー」が、8 月 30 日（月）から 9 月 5 日（日）まで開催され、80 名の小・中学生等が参加しました。

参加者は府中キャンパス内にある樹木について、約 2 時間かけて説明を受けた後、樹木名の鑑定テストに臨み、小学生の最高位は 2 年生の 3 段（30 種以上正解）、中学生では 1 年生の 10 段（100 種以上正解）と、熱心な取り組みの成果が現れました。また、本年度新設された「木の実」の部でも 40 種全問正解の 4 段が誕生しました。

5 年前に本学が開始したこの認定事業は、今ではネットワークが組織されるなど、全国的に広がっています。

なお、7 月 8 日（木）に「子どもたちと動物のふれあい授業」、7 月 29 日（木）、30 日（金）の両日に「理科教員のための組換え DNA 実験教育研修会」も開催されました。



（「マイホームページ作り」に挑戦した子どもたち）



（樹木の説明を受ける子どもたち）

「公開講座」・「大学等開放推進事業」の一覧表は

<http://www.tuat.ac.jp/social/openuniv/index.shtml> に掲載しています。

◎ アフガニスタン高等教育大臣一行が本学を表敬訪問

8月5日(木)、アフガニスタンのシャリフ・ファエズ高等教育大臣、ナジブラ・ナジフ高等教育省国際関係局長、カブール大学のアクバル・モハメッド・ポーパル学長が本学を訪問されました。また、アフガニスタンの次期教育アドバイザーに就任が予定されている政策研究大学院大学渡辺一雄教授及び文部科学省行松泰弘国際協力政策室長も同行されました。

本学とカブール大学は、平成14年5月に姉妹校協定を締結しており、宮田学長との懇談では、カブール大学との今後の交流について、国立大学法人後の経営状況及び運営方法などについての質問や意見交換が行われました。

この後、ファエズ高等教育大臣一行は、本学に在籍するカブール大学からの留学生たちと約1時間にわたって懇談され、さらに、小金井キャンパスでは、NHK主催の「大学ロボコン2004」においてアイデア賞を受賞したロボット研究会 R.U.R 作製のロボットの実演を観覧後、工学部附属繊維博物館及び TRADIM (次世代モバイル用表示材料共同研究センター)を見学されました。

ファエズ高等教育大臣一行は、日本のODA(無償資金協力)によるアフガニスタンへの教育研究用機材提供の契約締結を行うために8月2日(月)から8月13日(金)の日程で来日されたものです。



(前列左3番目から、ファエズ高等教育大臣、
ポーパル学長、ナジフ高等教育省国際関係局長)

◎ 宮田学長、北嶋副学長がロシア国立ハバロフスク工科大学を表敬訪問

8月25日(水)から29日(日)に、宮田学長と北嶋副学長がロシア国立ハバロフスク工科大学を訪問しました。

同大学との交流は、2002年に工学部情報コミュニケーション工学科が同大学の学生を特別聴講生として受け入れることから始められ、その後、昨年及び本年の4月に、同大学のイヴァンチェンコ学長、グベンコ副学長らが相次いで来日し、宮田学長を表敬訪問して、両大学の交流をさらに深めるための話し合いが行われてきました。

今回の訪問は、同大学長からの熱心な招待を受け、さらなる友好関係の進展について話し合うために実現しました。その結果、



(左からグベンコ副学長、宮田学長、イヴァンチェンコ学長、北嶋副学長、センチェンコ国際担当)

両大学の交流をいっそう深めるだけでなく、ロシア極東地区の大学を同大学が、日本のいくつかの大学を本学がとりまとめて複数の大学が連携して協力関係を深めていくという大きな構想を進めることについて、意見が一致を見ました。さらに、この構想を進めるために、来年の春に、同大学の学長らが再び本学を訪問して話し合いを継続することを約束しました。

なお、滞在中、公式の会議や見学だけでなく、昼夜の会食や休日の country-side excursion における同大学の学長、副学長らの歓待ぶりからも、本学との友好関係の進展を心から期待している様子が伺われました。

◎工学部附属博物館特別展「歴史的人工結晶」を開催

8 月 28 日（土）から 9 月 4 日（土）まで、工学部附属繊維博物館において、特別展「歴史的人工結晶」を開催し、教員、学生及び研究者など、熱心に見学する姿が見られました。

この特別展において展示された水晶、シリコン、ダイヤモンドなどの人工結晶は、電子産業技術発展の過程を知る上で極めて貴重な資料であり、また、コンピュータやゲーム機、携帯電話、レーザなど、私たちの生活を豊かに、そして便利にしてくれる IT 機器の基本的工業材料にもなっています。

なお、展示された資料は、日本結晶成長学会創立 30 周年記念事業の一環として、21 世紀 COE プログラム「ナノ未来材料」が中心となって収集したもので、本特別展終了後、「国立科学博物館」に寄贈され、将来常設で展示されることとなっています。



（展示された人工水晶）

講演会等特集

本学では、下記のとおり各種講演会等を開催しました。

各講演会等とも多数の来聴者が熱心に聞き入り、活発な意見交換が行われました。

開 催 日	講 演 者	講演テーマなど	開 催 場 所
7 月 7 日 (水)	独立行政法人 国際協力機構副理事長 (本学経営協議会委員) 畠中 篤 氏	我が国 ODA の現状－ JICA と 大学の連携の可能性－ (対象：本学の教職員)	本部第二会議室
7 月 27 日 (火)	国立大学法人東京農工 大学 助教授 早川 東作 氏	メンタルヘルスについて (対象：本学の事務職員)	本部第二会議室



(畠 中 氏)



(早 川 氏)

行 事

〈平成 16 年 7 月〉

日 曜		本 部 ・ 図 書 館 関 係 事 項		学 部 関 係 事 項	
1	木	第51回（平成16年度）国立大学図書館協会総会 大阪大学コンベンションセンター 役員会 14:00 本・学長室			
5	月	役員会	13:00	本・学長室	生物システム応用科学教育部博士前期課程 （H16.10月・H17.4月入学）願書受付（30日まで） 生・事務室
6	火			小金井市官公署等連絡協議会 農学教育部運営委員会	11:00 15:00 小金井市役所 農・第2会議室
7	水	役員・部局長・評議員懇談会 晶中 篤氏 講演会 講演者との懇親会 就職ガイダンス	15:00 16:30 講演会終了後 16:30	本・第1会議室 本・第2会議室 50周年記念ホール 工・講義棟L0111	生物システム応用科学教育部 運営委員会 工学教育部運営委員会 工学教育部教育委員会 総合情報メディアセンター 3F会議室 工学教育部社会貢献小委員会 工学部3年次編入学学力検査選抜（8日まで）・社会人特別選抜
9	金	教育改革検討委員会	15:00	BASE 3 階会議室	農学教育部環境・安全委員会 繊維博物館協議会 工学教育部学生生活委員会
10	土	大學ガイダンス2004	10:00	新宿NSビル	農・第2会議室 館長室 小金井図書館3Fメディア会議室
11	日	第1回留学生のための大学院進学説明会	13:00	東京国際交流館	
12	月	役員会	13:30	本・学長室	
13	火			連合農学研究科選抜試験（10月入学・進学） 連合農学研究科入試委員会	13:30 14:30 連・第1会議室 連・第1会議室
14	水			工学教育部運営委員会 農学教育部教授会 工学教育部教授会	10:00 14:30 15:00 工・中会議室 連・第2会議室 工・大会議室
16	金	大学教育委員会	15:00	工・中会議室	F S センター会議 工学部3年次編入学試験合格発表
17	土			公開講座 一実習で学ぶ農業教室XIVー（毎週土曜日・8月14日まで） F S センター	F S センター会議室 小金井東門掲示板
19	月	海の日			
20	火	学生生活委員会	15:00	学生部共用C	農学教育部学生生活委員会 工学教育部博士前期課程合格発表者（筆答試験免除希望者）
21	水	教育研究評議会	15:00	本・第1会議室	工学教育部戦略企画委員会 農学教育部教育委員会 農学教育部広報・社会貢献委員会 工学教育部施設設備委員会 農学教育部入試制度等研究委員会
22	木			農学教育部財務委員会	10:00 14:45 15:00 15:15 16:30 工・中会議室 農・第1会議室 農・第2会議室 工・中会議室 農・第2会議室
23	金			農学教育部財務委員会	14:30 農・第2会議室
24	土			第6回東京圏農学系学部長懇談会	14:00 麻布大学
26	月			工学部大学説明会	13:30 小金井キャンパス
27	火	第3回学長選考会議 早川 東作氏 講演会	10:00 16:00	本・第1会議室 本・第2会議室	生物システム応用科学教育部博士後期課程（H16.10月入学）願書受付（30日まで） 公開講座 一森のしくみー（28日まで）
28	水			連合農学研究科代議委員会 連合農学研究科教授会 工学教育部総務委員会	10:00 13:00 15:15 連・第1会議室 連・第2会議室 工・中会議室
29	木			農学教育部教授会（編入学試験Ⅱ次選考会議）	14:30 連・第2会議室
31	土			子どもインターネット教室（～8／1（日））	小金井図書館

★図書館 前学期定期試験に伴う開館時間 7月5日(月)～8月3日(火) 8:45～20:45

〈平成 16 年 8 月〉

日 曜	本 部 ・ 図 書 館 関 係 事 項	学 部 関 係 事 項
1 日		子どもインターネット教室（7/31～） 小金井図書館
2 月	役員会 13:00 本・学長室 留学生センター運営委員会 15:00 工・中会議室	連合農学研究科(10月入・進学)合格発表 13:00
5 木	アフガニスタン・ファエズ高等教育大臣の視察	
10 火		工学部電気工作物年次点検に伴う停電・断水
11 水		農学部自転車撤去
12 木		農学部電気工作物年次点検に伴う停電
16 月		工学教育部博士前期課程入学試験（平成16年10月入学・平成17年4月入学）（17日まで） 農学教育部一次願書受付期間（～18日）
17 火	平成17年度大学入学者選抜大学入試センター試験入試担当者連絡協議会（第1回） 10:00 メルパルク東京	
19 木		農学部説明会 12:00
20 金		平成16年10月入学工学教育部博士後期課程入学試験 農学部説明会 12:00
21 土		農学部電気工作物年次点検に伴う断水
24 火		生物システム応用科学教育部入学試験（25日まで） 前期課程（平成16年10月入学・平成17年4月入学） 生・講義室 後期課程（平成16年10月入学）
25 水	ロシア・ハバロフスク工科大学訪問（宮田学長・北嶋副学長）	
28 土		繊維博物館特別展「歴史的人工結晶」（9／4まで）
30 月	役員会 13:00 本・学長室	子供の「樹木博士」の認定事業（～9／5（日））

図書館 定例休館日 8月31日（火） ・ 臨時休館日 8月9日（月）～8月13日（金）
 前学期定期試験に伴う開館時間 8月2日（月）・8月3日（火） 8:45～20:45
 休業期に伴う開館時間 8月5日（木）～9月29日（水）8:45～17:00

F M多摩丘陵（波丘地）の植物 その15

コセンダングサ（小梅檀草）



秋には、じきに訪れる冬を前にして餌を求めて動き回る動物が多いのか、動物の体にくっついて、種子を運んでもらおうとする草本(注)が多い。晩秋の枯れかかった草原に入り、色々な種子が衣類にくっついて取るのに苦労した経験をお持ちの方も少なくないでしょう。

シリーズ6で紹介致しました“オオオナモミ”も、そういった草本のひとつですが、今回紹介致します「コセンダングサ」も、“イノコズチ”や“ヌスビトハギ”と並んで、このような草本の代表選手と言っていいのではないのでしょうか。

「コセンダングサ」は、キク科センダングサ属の一年草で、明治時代に渡来したと言われる帰化植物です。頭花には舌状花はなく、筒状花のみ。同属の“センダングサ”は、葉の形が樹木のセンダン（梅檀）の葉に似ているので“センダングサ”と呼ばれていますが、それより少し小さいのでこう呼ばれているようです。

「コセンダングサ」は本来河原や造成地に群生しますが、そういった環境の少ないF M多摩丘陵では中々群生までには至りません。生息数はほんの僅かです。

注：草本＝植物のくきが木質でないもの。



高さは0.5～1m程



頭状花は筒状花のみ



葉は奇数羽状複葉で、センダンに似ている



そう果についた鉤のような部分は、冠毛の一種



成熟すると、タンポポのように球形になる

（文・写真 松村 良）

農工大の樹 その51



〈 解 説 〉

メダラ

メダラ（ウコギ科タラノキ属の種タラノキの変種、学名 *Aralia elata var. caescens* Nakai）

タラノキは高さ6 m、直径20cmにもなる落葉小高木で、琉球までの日本列島とサハリン、中国北部、東シベリアなどのアジア東北部にも広く分布しています。母種であるタラノキは茎や葉に硬いとげがありますが、この変種はとげがないか、あっても少なく、小葉の下面脈上に短い縮毛のあるものです。タラノキの芽は春の山菜の代表で、同じ仲間のウドと似た臭いを持っています。天麩羅、和え物、汁の具などのほかに、生か焼いて、味噌をつけるだけでも美味しいものです。一般にはタラノキよりもトゲを持たないこの変種の方が好まれるようです。タラノキの新芽が吹く春、この木の皮には養分があって甘く、剥けやすいので、山ではシカやクマが喜んで囓るそうです。材は軽く柔らかいのが特徴で、箱、茶盆などの器具や小細工物に利用されます。樹皮は煎じて糖尿病、肝臓病、胃腸病の薬として古くから服用されてきました。この写真は府中キャンパス内に生育する個体で、伊豆七島に生育するメダラ（シチトウダラ）とその花序です。

（環境資源共生科学部門 教授 福嶋 司）